



10月29日付
申32号

新潟鉄道サービス株式会社における 労働条件改善に関する申し入れ提出

新潟鉄道サービス株式会社にはJR本体からの出向社員に加え、エルダー制度の雇用先企業として多くのエルダー社員が働いています。そこで働く組合員から労働条件の改善を求める切実な声が東日本ユニオン新潟地本に寄せられています。これまでも何度も職場で改善に向けて要求してきた項目や、また制度としてJRはもちろん、新潟鉄道サービス株式会社においても定められているにも関わらず、制度の使用が認められない事象など早急に改善を図らなければならない項目もあります。

新潟地本は「グループ会社と一体となった業務体制の更なる推進」「エルダー制度における雇用の場の確保」を目的とした施策を新潟支社と議論してきた当事者として、グループ会社の労働条件改善について申32号を新潟支社に申し入れました。

■ 申32号 申し入れ項目 ■

1. 酒田駅1番線下り方NTS詰所に社員用トイレを新設すること。
2. 短日数勤務を希望する社員に適用を認めること。
3. 保存休暇の使用範囲をJRと同等とすること。
4. 汚物抜き取り、嘔吐物清掃等の衛生リスクの高い業務に対し作業1回につき300円の手当てを支給すること。

労働条件・労働環境改善に向けて東日本ユニオンに加入しよう！